

一、漲る水の大淀川の  
光も清く或くところ  
浪速若子と名を負いて  
契りを結ぶわれらが北陽

二、廃墟に繁る雑草に  
古き歴史はこぼとも  
高き匂いに咲く花の  
文化の都興さずや

三、焦土に揚る再建の  
大さきと起き上り  
築かん国に燃ゆる火の  
若き生命を捧げずや

四、湊を洗う海潮の  
続く世界に目を開き  
流れて止まぬこの水に  
世紀の魂を磨かずや

### 校歌

作詞 横山 藤吾  
作曲 牧野 卓央

### 編集後記

岡田会長の強い意向で若手が多く起用され、斬新な新旧交代が図られ昨年4月に始動した同窓会。新たな時代を構築する為の激動の1年を振り返りながら会報第37号 北陽同窓を発行致しました。内容は定期代議員会・ホームカミングデー・課外活動表彰・進路状況・同窓の近況など盛りだくさんの内容となっております。沢山の原稿を寄稿して頂き有難うございました。今後ともご支援ご協力を宜しく申し上げます。

広報委員会

関西大学北陽高校同窓会ホームページ <http://www.hokuyo-ob.jp/>



## 関西大学北陽高等学校、新たな時代の構築

関西大学北陽高等学校 同窓会会長 岡田 彰布 (昭和51年卒業)

同窓会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

一昨年の5月に同窓会会長を任じられ、はや2年が経とうとしております。当初は身にあまる大役に戸惑いもありましたが、おかげで母校愛で結ばれている諸先輩はじめ後輩たちの『絆』の強さを改めて実感させていただきました。

昨年夏の高校野球大阪府大会期間中は、時間が許す限り球場に足を運びました。惜しくも準決勝でPL学園に敗れましたが、強豪校がひしめく激戦地区でベスト4まで勝ち抜きました。

硬式野球部OBの一人として、高校球児のあこがれの聖地である甲子園をめざして白球を追っていたかつての自分の姿を思い出させてくれた後輩たちの健闘に、拍手を送ってあげたいです。

卒業後、早稲田大学をへて阪神に入団し、チームの日本一達成にも貢献することができました。現役引退後は阪神、オリックスで監督を務め、指揮官としてもリーグ優勝を経験しましたが、厳しいプロ

の世界で「人材の大切さ」を学びました。

長い歴史と伝統を誇るわが母校の同窓会には、多彩な人材がそろっております。新たな時代を構築する為にも「チーム関大北陽」で、次世代を継承していく若い芽を育てていただきたいと願っております。

さて今年は大正4年(1925年)に甲種北陽商業高校として産声をあげたわれらが母校にとって、創立90周年という節目のメモリアルイヤーとなります。

昨年11月に実施された「ホームカミングデー」に続いて今年10月には「関大北陽90周年の集い」が開催されます。

9月にも同窓会ゴルフコンペが予定されていますので、皆様方との交流を今から楽しみにしております。

最後になりましたが、同窓会の皆様には今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



### 激動の1年

関西大学北陽高等学校同窓会 副会長 中本 導男 (昭和53年卒業)

昨年4月に同窓会副会長・組織事業委員会委員長という大役をお任せしてからあつという間に1年が終わろうとしております。

同窓会の皆様方に、どのような協力をしていただけるだろうか。微力ながら、副会長として奮闘努力を続けております。

定期代議員会メンバーからの「若い世代にも、気楽に参加してもらえるにはどうすればいいか」という提案にこたえ、平成26年卒業の野球部マネージャーさんに代議員を引き受けていただく事になりました。

昨年11月に開催されたホームカミングデーでは、岡田同窓会会長にも案内状発送の手伝いをさせていただきました。おそらく人生初めての作業だったと思いますが、同窓会のさらなる充実・発展をめざして、スタッフ一丸となっております。

われわれが通っていた頃に比べ、敷地や施設など母校も随分、様変わりしました。その新しい環境のなかで、高校生活を送っている後輩たちに、OBの一人として期待と希望を感じています。これも先生方、生徒達はじめPTAが三位一体となって、関大北陽のさらなる飛躍に取り組んでいる成果だと思えます。

さて、今年も10月31日に恒例のホームカミングデーを開催いたします。母校の創立90周年という事で「関大北陽90周年の集い」となりました。

同窓会メンバーや旧友との楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。今後とも皆様方にはご支援、ご協力よろしく願いいたします。



### 新総合体育館とともに刻む新しい歴史への歩み

関西大学北陽高等学校・中学校 学校長 鈴木 清士

岡田彰布会長はじめ、同窓会会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に温かいご支援を賜り、誠に有難うございます。

2010年4月に中学校校舎が建設され、2013年9月に総合体育館が竣工し、2014年3月には人工芝グラウンドが完成しました。そして2015年度からは高校校舎のリノベーションがスタートします。「文武両道のさわやかな学校づくり」の実現を目指して、教育環境の整備がこれからも着々と進んでいく、ということをご報告いたします。

学園全体から見ればいろいろな施設や設備の拡充プランがある中、法人が北陽の将来を優先して大切に考えてくださっていることに対し、私たちはいくら感謝してもしきれません。この間、環境整備の趣旨に賛同され、総合体育館建設にご寄付を頂きました多くのご先輩に対しては心から感謝申し上げます。しかしながら、それでも決して十分な寄付は集まっておりません。今一度、更なるご協力のほどをお願い申し上げます。次第であります。

さて、2015年度は北陽開設90周年を迎えます。80周年は私が10代目の校長として就任した年でありましたが、このときは学校主催で新大阪のガーデンパレスで行われました。今回は同窓会が主催、10月31日(土)に新阪急ホテルで開催ということがすでに決まっています。

単なる10年ごとの周年お祭り行事と捉えず、北陽の伝統と歴史を支えてきた先人、先輩、そして北陽の今日と未来を拓いてくださった学校法人関西大学に対し、教員、生徒、OB、保護者らが一体となって感謝の気持ちを捧げ、新しい未来にたくましく踏み出すことを高らかに宣言できるような会になることを祈っています。

さて、このたび私は3月末をもって北陽を退職し、田中敦夫先生に校長のバトンを渡すことになりました。退職するにあたり、私の母校北陽への想いを少し語らせて頂きたく存じます。それは、7年前の関西大学との合併劇にまつわる話です。

平成も10年を過ぎると生徒数の急激な減少から学校の経営難の時期に入ってきました。

経営危機を脱するには何らかの形でどこかの大学と提携するしかない、いろいろな提携があるけれども、経営基盤を根底から立て直すには大学との合併まで考える必要がある、と教頭時代からずっと考えていました。しかしお世話になった福武学園を消滅させることは人の道に反するのではないかと、しかしこのままでは学校がなくなる前に生徒も教員も路頭に迷う、そうした狭間にたつて苦悩しました。そして、北陽が置かれている現実を静かに受け止めた上で、最後は次のように考えることにしました。

一つ目は、学校が潰れるということはどういうことか、どのように潰れ

ていくのか、その瞬間を冷静に見ておこう。自分が死に水を取るという覚悟をしておけば何も怖くはない、と考えました。

二つ目は、北陽の財政危機を救ってほしいという虫のいい考えだったら、どこも助けてはくれないだろう。どこも苦しいわけだから相互にメリットがなければ話には乗ってこない。そうではなく、北陽というブランドの名前を残す、建学の精神を継承させる、その1点を主張するだけなら北陽を引き取ってくれる大学はあるのではないかと考えました。企業ではM&Aが流っていましたが、身は売っても魂は売らない、そういうことが可能ではないだろうか。それなら福武学園は消滅するが北陽は消えない、北陽の建学の精神は残る、と考えました。

三つ目は、ここぞというときには不退転の気持ちを持って勝負をする、というように胆をすえたということです。私にはいろいろな立場の人たちと対峙しなければならない場面が多々ありました。具体的なことは割愛いたしますが、「この線を越えたらその人と勝負する。そのためには日ごろからその線をきっちりと引いておこう」と考え、日々そのような覚悟をしていました。

それでも様々なストレスが私を襲ってきました。合併までの道のりは平坦ではありませんでしたが、結局は合併に成功しました。成功したのには二つの理由があります。

一つは歴史的な背景。関西法律学校から関西大学へと昇格させた立役者が山岡順太郎氏(後の関西大学総理事)。北陽の母体である北陽商業学校の設立者が山岡俊氏(順太郎氏の長男)。理想の形で合併に成功した背景に、こうした関西大学と北陽高校のもつ歴史のつながり、つまり縁(えにし)があります。

成功した第二の理由は、二人のキーパーソンの決断にあります。当時の関西大学理事長であった森本靖一郎氏が北陽の可能性を信じて合併に踏み切り、そして福武学園の理事長であった福武道裕氏が最後はご聖断を下された、ということでもあります。

当時、同窓会の一部の方からは「北陽の卒業生で、関大北陽の卒業生ではない」という、合併そのものへの非難がありました。その人たちの気持ちを理解できないわけではありません。しかし、我々のこの命は、生かされている命であると同時に未来につながっていく命でもあります。どうか、関西大学との合併の主旨をご理解願ひ、これからも母校北陽のためにご尽力を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。次第であります。

のうちに終えることができました。この講演会には、同窓会の皆様にも行事日程が重なる中、数名のご参加をいただきました。ご参加いただきました皆様有難うございました。残念ながら今回は同窓会行事と日程が重なりましたが、今後もこのような機会がございましたら是非ともご参加いただければとお願い申し上げます。

また、本年は1年かけてPTAの会費改定の議論をした結果、PTA会費を従来の5,000円から、他の付属校に合せて15,000円とさせていただくこととなりました。この改定によりこれまで以上に生徒たちの教育環境やクラブ活動に対する支援が出来、伝統の文武両道をより高める側面的支援ができればと考えております。

2015年度関西大学北陽高校は北陽創立から90周年を迎えるとお伺いしております。90周年を機に関大北陽高校並びに関大北陽高校同窓会が益々発展されることを心よりお祈り申し上げます。



### 尾木ママ教育講演会を終えて

関西大学北陽高等学校・中学校 PTA副会長 西原 武一郎

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素はPTA活動にご支援ご協力を賜りまして誠に有難うございます。さて、昨年同窓会の皆様とご一緒させていただきました「関大北陽ファミリーの集い」に引き続きまして本年は11月15日に昨年竣工されました新総合体育館におきましてPTA主催「尾木ママ教育講演会」をテレビでご活躍の教育評論家の尾木直樹先生をお迎えして550名以上のPTAの保護者の皆様、同窓会の皆様、教職員、大学関係者、私学連の皆様にお集まりいただき開催いたしました。

尾木先生には普段テレビで見るとより、よりパワフルに、熱意あふれる講演をしていただき、笑いの絶えない楽しい時間を過ごすことが出来ました。参加者からも「大変面白くなった」との声をいただき大成功



## 平成26年度 関西大学北陽高等学校同窓会第37期定期代議員会が開催

日 時：平成26年4月19日(土)14時00分～17時30分

場 所：関西大学北陽高等学校大会議室(1F)及び大食堂(2F)

代議員総数102名の内、委任者44名、出席者35名での議事進行となる。(ほかに鈴木学校長、光本教諭が出席)北川副会長の開会の弁に始まり、澤田理事による物故者に黙祷及び校歌斉唱、岡田会長から会長就任1年を振り返っての挨拶に続き、鈴木学校長の学校近況挨拶がありました。

審議前の議長に喜多副会長を選出。第1号議案から第6号議案まで報告と審議。全ての議案は全員の賛同を以って承認致しました。

終了後、15時30分から懇親会を2階大食堂にて開催(希望者32名)。

中本新副会長兼組織事業委員長の進行で、本会の緊張感とは裏腹に、各位思い思い近況報告や高校時代の懐かしい話に時を忘れながらも、17時30分に解散しました。

田村大作(昭和59年卒)

### 役員・顧問

(平成26年6月～27年3月)

☆印 新任

役 職	氏 名	卒 年	担当職務	役 職	氏 名	卒 年	担当職務
会 長	岡田 彰布	昭和51年卒		監事	阪田 裕弘	昭和41年卒	組織事業委員(任期平成27年4月)
会 長 代	池田 勝一	昭和49年卒	総務委員長	監事	国府島勇三	昭和45年卒	関東支部副支部長(任期平成27年4月)
副会長	原 強	昭和51年卒	関東支部顧問	退任	足立 宗央	昭和42年卒	オブザーバー会長付
副会長 ☆	中本 淳夫	昭和53年卒	組織事業委員長	退任	北川 徹	昭和45年卒	オブザーバー総務委員会
会 計 ☆	田村 大作	昭和59年卒	組織事業委員	退任	喜多 憲治	昭和41年卒	オブザーバー組織事業委員会
理 事 ☆	中尾 明	昭和50年卒	広報委員長	退任	山内 直行	昭和42年卒	オブザーバー広報委員会(事務局担当)
理 事	内海 昭	昭和43年卒	関東支部支部長(任期平成27年4月)	退任	川合 浩幸	昭和58年卒	
理 事	西森 務	昭和60年卒	組織事業委員	退任	岩内日出男	昭和48年卒	学校窓口 組織事業委員会
理 事	西澤 宏之	平成4年卒	組織事業委員	退任	澤田 涉	昭和52年卒	学校窓口 総務委員会
理 事 ☆	八木 知之	昭和52年卒	組織事業委員(ゴルフコンペ担当)		☆ 光本 健吾		学校窓口 広報委員会
理 事 ☆	梶川 聖二	昭和57年卒	広報委員(ホームページ担当)	名 譽 顧 問	鈴木 清士	学校長	
理 事 ☆	中川 智	平成3年卒	広報委員	名 譽 顧 問	金澤 勇	元教頭	





平成25年度 決算報告

自 平成25年 4月1日  
至 平成26年 3月31日

収入の部		(単位 円)	
科目	予算	実績	摘要
前期繰越金	4,926,994	4,926,994	
会費	3,950,000	3,940,000	394名
会員・会報協力金	300,000	391,000	60名(36号12名、37号48名)
代議員会費	60,000	62,000	31名×2,000(懇親会参加者)
雑収入(受取利息)	1,000	368	預金利息
総合計	9,237,994	9,320,362	

支出の部		(単位 円)	
科目	予算	実績	摘要
会議費	0	38,290	役員会・委員会ポトル茶ほか
代議員会会議費	60,000	27,530	
人件費	0	0	
交通費	150,000	223,627	役員会・委員会交通費等
消耗品費	200,000	208,631	コピー機及び保守料、封筒、宛名シール
通信費	650,000	853,306	会報発送費、電話料、切手、葉書
慶弔費	1,000,000	685,744	卒業祝贈品、課外活動副賞
支部費	50,000	42,545	関東支部活動費
雑費	100,000	84,230	名簿メンテ、振込手数料他
予備費	1,500,000	1,500,000	体育館建替基金として寄付
小計	3,710,000	3,663,903	
会報発行費	1,100,000	1,059,580	会報4,500部、HP更新料
組織・事業運営費	100,000	57,483	ホームカミングデーほか補填
小計	1,200,000	1,117,063	
合計	4,910,000	4,778,966	
次期繰越金	4,327,994	4,539,396	
総合計	9,237,994	9,320,362	

平成26年度 予算書

自 平成26年 4月1日  
至 平成27年 3月31日

収入の部		(単位 円)	
科目	予算	摘要	要
前期繰越金	4,539,396		
会費	3,140,000	314名×10,000(卒業予定者)	
会員・会報協力金	400,000	24・25年度(定額から任意)の実績から	
代議員会費	60,000	30名×2,000(懇親会参加者)	
雑収入(受取利息)	500	預金利息	
総合計	8,139,896		

支出の部		(単位 円)	
科目	予算	摘要	要
会議費	40,000	会議用ポトル茶等	
代議員会会議費	60,000		
人件費	240,000	事務局を再開(週一日を予定)	
交通費	200,000	役員会、各委員会等交通費	
消耗品費	280,000	コピー機及び保守料、封筒、事務消耗品等	
通信費	850,000	会報発送費、電話料、切手、葉書等	
慶弔費	800,000	卒業祝、課外活動(優秀賞・団体奨励賞)副賞	
支部費	50,000	関東支部活動費	
雑費	50,000	振込料他	
体育館建替基金	1,000,000	24年から6年計画で1千万円の寄付を予定	
小計	3,370,000		
会報発行費	2,000,000	会報発行(5,000部予定)、HPリニューアル費	
組織・事業運営費	50,000	ホームカミング等の行事に補填	
小計	2,050,000		
合計	5,420,000		
次期繰越金	2,719,896		
総合計	8,139,893		

# 第7回 ホームカミングデー & 還暦同期同窓会が開催されました!!

ホームカミングデーに参加して

同窓会副会長 原 強

昨年11月15日に開催されたホームカミングデーに参加させていただきました。昨年のホームカミングデーは、第一部オープニング編、第二部懇親会編という二部構成という形で実施され、100名を超える同窓生、同窓生のご家族が参加され、盛会でありました。

第一部オープニング編では、最初に物故者黙祷をした後、ジャズバンド部の生徒さんの伴奏で校歌を斉唱いたしました。校歌を斉唱すると、自然と高校時代の気持ちに戻ることができるものであり、校歌の魔力を改めて感じながら、同窓生の皆さんと再び同じ時間を過ごすことができています実感に浸りました。

岡田会長の挨拶の後、岡田会長から高校への寄付金の贈呈、鈴木校長からの母校の現状報告をいただいた後、歓迎コンサートと銘打ったジャズバンド部の生徒さんの若々しくかつ力強い演奏を堪能させていただきました。

第二部懇親会編は、岡田会長とクラスメートであり元サッカー日本代表長谷川治久氏による座談会で幕を開けました。岡田会長と長谷川氏との座談会は、高校生活の話から球界の話にまで及び内容盛りだくさんの本当に楽しいトークで会場を笑いの渦に巻き込むものでありました。

その後、還暦を迎えられた3名の先輩方の祝辞を申し上げ、抽選会で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎ、池田会長代行による閉会の辞をもって閉会となりました。

●●●●● ホームカミングデーの告知 ●●●●●

**創立90周年を迎える今年、場所を新阪急ホテルに変えて、皆さんと有意義な時間を共有したいと考えています。**

**「関大北陽90周年の集い」… ホームカミングデー…**

- 日程 / 10月31日(土) 15:00~16:40 式典  
17:00~19:00 懇親会
- 場所 / 新阪急ホテル 紫の間
- 主催 / 同窓会(PTAと学校が共催)

詳しくはホームページ(<http://www.hokuyo-ob.jp/>)、問い合わせは同窓会事務局にFAX(06-6320-3032)にてお願い致します。



# 第7回 ホームカミングデーに参加して

本日、昨年の暮れ昭和27年度の高校3年(普)担任林 敏夫先生が亡くなったことを聞き、心さみしく思いました。小生の頃の北陽高校はボロボロの校舎で学んだ記憶が大であります。ますます北陽高校の発展を祈ります。

28年卒 金本 太仙

円形校舎の当時食堂とは、想像にも思わなかった立派な食堂でびっくりしました。又、当時の仲間と会い学生時代に戻れました。ありがとうございました。

33年卒 匿名

第7回ホームカミングデー選暦同期同窓+ファミリーの集い誠におめでとうございます。毎回参加させていただきます。また来年すばらしいホームカミングデーを楽しみにしております。

35年卒 岡田 勝男



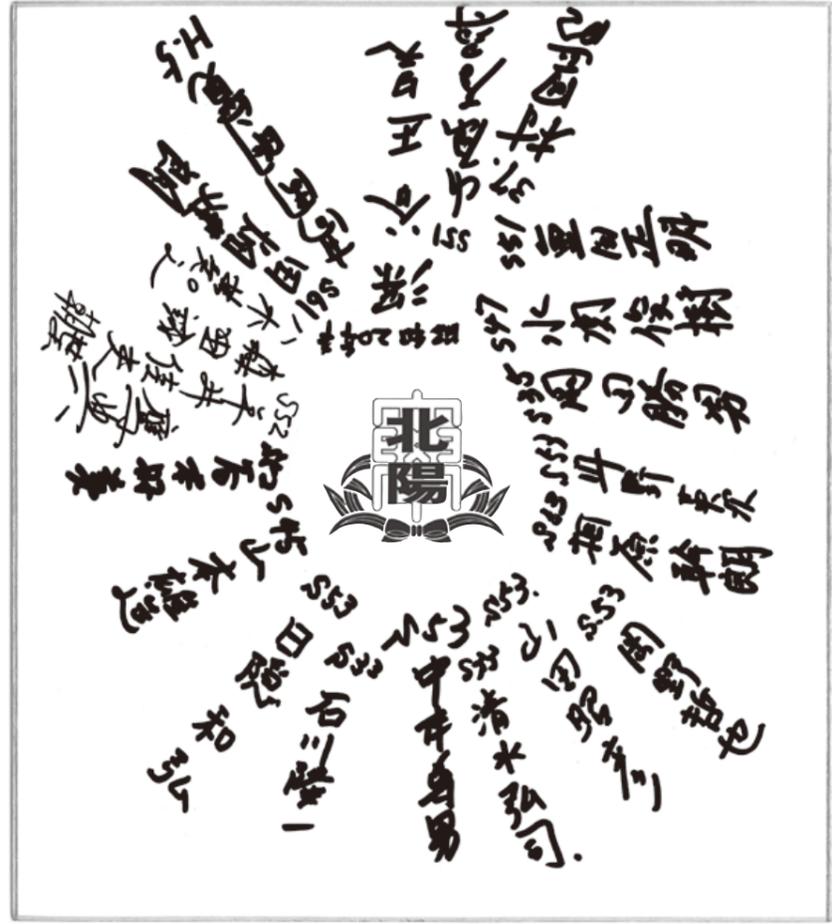
私学が衰退していく中で順調に発展している様子を、頼もしく感じこの上もなくうれしく思っています。これからの北陽に大いに期待します。北陽精神ともいえる「実直負けず嫌い」のおかげで、私は納得のいく人生を送らせて頂いています。人生は頭だけではない人間勝負です。人間性をみがき、人から愛される様そしてこよなく愛すような、人間を目指して！

ゴールはありません。死ぬまでです。

ありがとうございました。  
40年卒 勇元 国治

- 学習面  
国公立にも入学できる程の生徒の育成。
- 運動面  
数年一度は甲子園に出場出来る様に。  
40年卒 奥嶋 一雄

京都都大路を目指す高校駅伝大阪予選、残念ながら準優勝に終わりました。



今年のメンバーは1,2年生を中心にしており、来年こそ楽しみにしています。関大北陽高校陸上部頑張れ!

40年卒 城島 末明

昨年度は選暦同窓生は1名でしたが今年は3名の参加でした。毎年一人でも多くの人に参加出来る様に頑張ってください。

41年卒 阪田 裕弘

来年は北陽創立90周年、私も68歳、歳月の早さを身をもって感じます。

41年卒 増田 正彦

来年の90周年行事には同級生と共に参加致したいと思います。

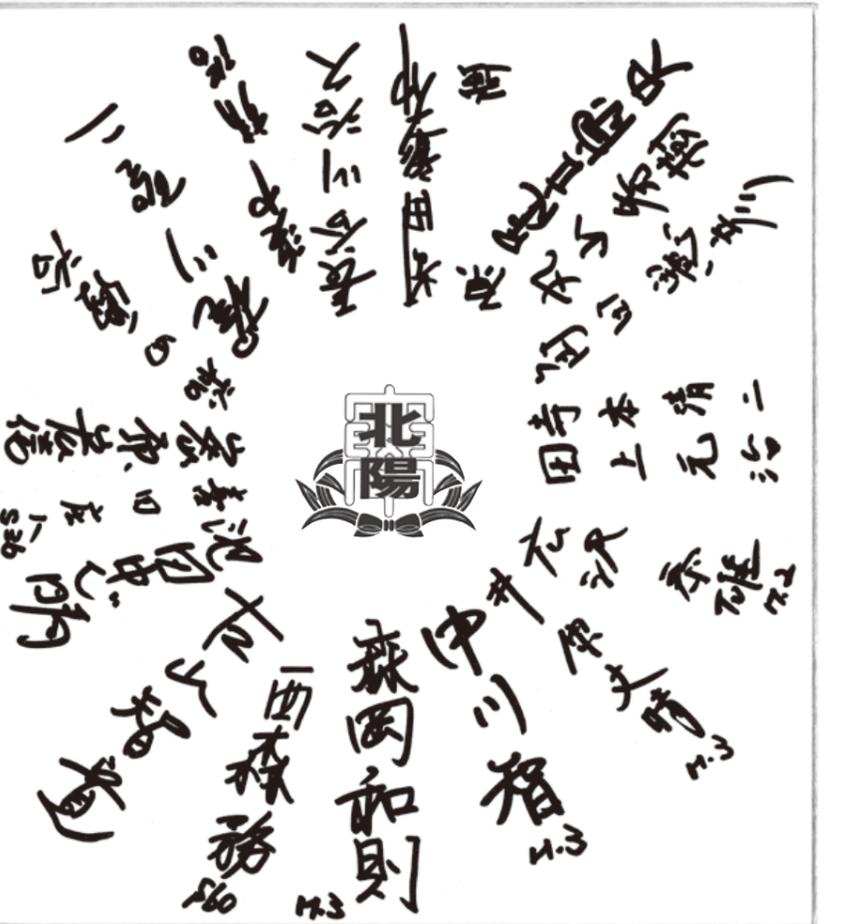
41年卒 喜多 憲治

北陽高校同窓会は毎年楽しみに出席しています。今後は活発な同窓会をよろしくお願い致します。

43年卒 高畑 正司

野球部の勇姿を見せてください。私の記憶があるうちに甲子園に出て貰いたいです。

45年 山本 雄造



今日は楽しい時を過ごせました。来年の90周年を楽しみにしています。

硬式野球部の頑張りを待っています。甲子園出場の協力をお願いします。

46年卒 松岡 高信

初めて参加させていただきましたが、やっぱり北陽高校はファミリーです。OBの方々の楽しいトークや人情はいいですね。来年も是非参加したいと思います。

46年卒 山崎 清孝

校歌を歌えて最高です。関大北陽を応援します。

48年卒 匿名



いつまでも続けて頂きたいと存じます。今回の良き日を良き思い出となり、大変感謝しております。ありがとうございました。

47年卒 水関 俊樹

今回で3回連続で参加していますが、年々参加者が増えていると思います。しかし、卒業生の輪を広げるにはまだまだですが、微力ながら頑張って継続して行きたいと思えます。

まず、クラスの同窓会を開催する事が重要だと思う今日この頃です。

野球部、サッカー部を中心にアピール(全国大会出場)を念じています。(卓球部も全国大会に出場できる人材を育成する様に努力する事を……)

48年卒 速水 隆

還暦でお誘い誠にありがとうございました。

卒業後、初めて学校を訪問させて頂きましたが、同級生に会えなかったのがさびしいです。



クラブ活動はやはり運動部が強いですね。文化部出身の私とすればさびしいですね。ジャズバンドは良かったです。また、機会があれば出席します。

48年卒 寺本 清二

昨年初めて参加させて頂きました。今年は知らない方ばかりで少し残念でした。

関大北陽と校名が変わりましたが、新聞やニュースで北陽の活躍を見るにつけうれしく思います。

これからも関大北陽の発展をお祈り申し上げます。

48年卒 伊波 幹雄

硬式野球、蹴球部共に全盛時代に戻ってほしい。母校の指導者の方々ももっと熱を入れて下さい。

52年卒 平井 佳夫

硬式野球部とサッカー部の全国出場

52年卒 谷本 好美

やはりもう一度硬式野球部、サッカー部を強くしてほしい。

53年卒 龍崎 俊朗



学生時代に戻ったような、岡田さん、長谷川さんのトークを聞きなつかしく思いました。

54年卒 曾川 透

文武両道。硬式野球部 復活を期待します。

56年卒 伊藤 伸輔

本日は関西大学北陽高校第7回ホームカミングデーおめでとうございます。

昭和59年卒業の庄司 久哉と申します。

卒業して30年過ぎましたが、北陽には日々元気をもらっております。

高校野球が大好きなので、毎年夏の大阪大会には北陽の応援に駆けつけております。残念ながら近年は今一步のところで甲子園には届きませんが、近い将来また甲子園で北陽の応援ができる日が来ると信じております。

他のクラブについても応援しております。今後とも北陽の発展、活躍を祈念しております。

59年卒 庄司 久哉

ご苦労様です。本日は楽しく時間を過ごさせていただきました。

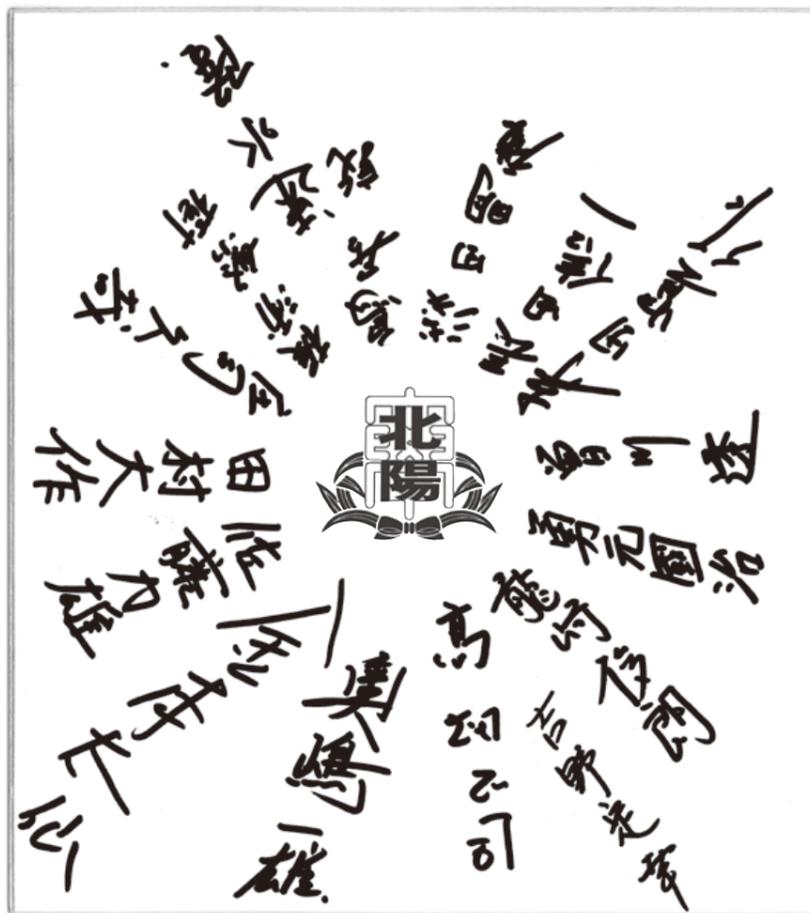
新体育館はとても立派な建物となり、今後の生徒さんのご活躍が期待されると感じました。

同窓会では、同級生が全く来校されてなく非常に残念です。家族で参加できることが非常にありがたいです。

61年卒 田村 和照

昨年も来ましたが、今年は岡田会長のタイガース裏話を聞けたのでうれしかった!

63年卒 密原 宏信



# 母校だより

## 「北陽の伝統」

私たち関西大学北陽高校5期生は、たくさんの先輩方、先生方、保護者の方々の温かい目に見守られながらこの学校を旅立ちます。

北陽創立から数えると八十九年という長い歴史と伝統のある学校が自分たちの母校になると思うと、改めて身が引き締まる思いになります。そして偉大な先輩方に少し肩を並べられることができた嬉しさと、後輩たちにこの伝統を伝えなければならないという責任感で胸がいっぱいです。

関大北陽がこれまで文武両道を実践してこれたのは、先輩方に様々な分野でバックアップしていただいたからだだと思います。中でも、私の在学中に完成した総合体育館と芝生・タータンが備わった運動場にはすごく驚きました。あれだけの設備が整っている学校は、全

関西大学北陽高等学校 生徒会長 **川端 智樹**

国を見渡してもなかなかありません。実際、体育の授業等で体育館や運動場を使い、こういった充実した設備が整っている中で学校生活を送れることに私たちは恵まれていると実感しました。クラブ活動で体育館や運動場を使う生徒たちは、より一層強い思いを持っていることだと思います。

私たち、岡田同窓会をはじめ、多くの先輩方のお力添えもあり、ここまでやってくることが出来ました。今度は、私たちが後輩たちに、みなさんがつないでこられた「北陽の伝統」というたすきをしっかりとつないでいきたいと思っています。



## 課外活動表彰



## 個人の部

### 陸上競技部

○インターハイに出場 **2年H組 藤田 漢太郎**

昨年は日本ユースこそ勝つたものの、肝心のインターハイでは決勝に進んだだけで国体にも出場出来ず、実力と経験が不足していると感じた一年でした。今年は出場する試合全てに勝ちたいので、この冬でしっかり力を付けて、世界につながる年にしたいです。そして人としても成長し、たくさんの人から応援される選手になっていきます。精一杯頑張りますので皆さん応援よろしくお願いします。



○インターハイに出場 **2年J組 高砂 大地**

私は山梨県で開催された全国高校総体に5000mで出場しました。又、広島県で開催された全国都道府県駅伝大会では1区を走りました。どちらの大会でも全国レベルの雰囲気や圧迫されて思い通りの走りが出来ませんでした。2年生でこのような貴重な経験がたくさん出来ました。この経験を生かして練習を積み重ね、目標としている全国高校駅伝に出場し1区を走りそれ以外の全国の舞台でも活躍していける力を付けていきます。



### 水泳部

○インターハイに出場 **2年J組 大芦 知央**

今年もインターハイに個人2種目、リレー3種目に出場しました。100m背泳ぎでは決勝にも進出し6位入賞することが出来ました。さらにジュニアオリンピックでは同種目で自己ベストを更新し準優勝しました。練習では今できること、今自分に必要なことを日々精一杯頑張る。試合ではその成果をしっかり発揮して納得のいく泳ぎをし、応援してくれる人の期待に応えられるようにしたいです。これからもインターハイ優勝に向け頑張ります。

○日本選手権、ワールドカップに出場 **1年I組 古賀 千尋**

高校生になってから初めて日本選手権やワールドカップに出場しました。そのときは会場の雰囲気や圧迫され、思うような結果はだせませんでしたが、またこの舞台に立って泳ぎたいと思いました。今はまだ制限タイムが切れていな

いので日本選手権やワールドカップで味わった気持ちと、私を支えて下さっている方への感謝の気持ちを忘れずに毎日効率よく練習していきます。必ずまた同じ舞台に立って見せます。

○インターハイに出場 **3年C組 橋本 凌輔**

私は、昨年の8月に行われた日本高等学校選手権水泳競技大会に出場しました。その時に感じたのが、やはり上には上がいることです。私も決勝進出を目指し、精一杯努力はしましたが、叶わず決勝へ進出することは出来ませんでした。優勝した選手の泳ぎを見ると、様々な面で私よりも上回っていてレベルの差というものを改めて感じました。大学に入学してから、また一からトレーニングに励み日本選手権決勝を目指し、日々努力していきます。

## 柔道部



○一戦一戦を勝ち抜いていきたい **2年J組 東阪 泰輔**

自分は昨年、大阪府新人大会柔道の部百キロ超級と二次予選無差別級で優勝し、今年の3月に行われる全国高校選抜に出場することになりました。近畿大会では二回戦敗退というとても情けない結果に終わってしまい非常に悔しい思いをしましたが、それは自分の精神面が弱いのが故の結果です。全国大会ではこの屈辱を雪ぐために一戦一戦を勝ち抜いていきたいです。

## ボクシング部

○インターハイ準優勝、プロボクサーになりました。 **2年J組 丸田 陽七太**

今年のインターハイでは、準優勝という結果でした。決勝戦では勝ちが絶対という「打たれずに打つ」、完璧に勝ちという試合をしましたが、なぜか相手の手が上がり、自分にとっても応援して下さった方々にとってもすごく心が痛い判定となりました。インターハイが終わり、11月にプロボクサーになりました。これからはプロの世界で世界チャンピオンへの道を進んでいきます。



プロボクサー 丸田 陽七太

## 団体の部

### ダンス部

奨励賞 有難うございました **ダンス部主将 2年H組 藤井 祐衣**

このたびは奨励賞をいただき、ありがとうございます。私たち創作ダンス部は「たくさんの人に笑顔」をモットーに日々練習に励んでいます。本年度はチアダンスの大会で全国大会に出場することができました。仲間との絆をダンスを通じて深める事ができ、とても充実した高校生活を送っています。そして部活を支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに一人でも多くの方にダンスの楽しさを伝えていきたいと思っています。今後もチア、創作共に力を入れ全国大会出場を目指し、部員一同全力で頑張ります。応援よろしくお願いします。



## フィギュアスケート部

○来シーズンはさらにレベルアップしたい **3年H組 中村 優**

今シーズンは自分にとって昨年よりも成長できたと感じられるシーズンでした。近畿大会では優勝、西日本選手権では二位、全日本ジュニア選手権でも三位という成績で全ての試合で表彰台に上がることができました。推薦で出場した全日本選手権では怪我もあり良くはありませんでしたが、いい経験になりました。今シーズンの経験を生かして来シーズンはさらにレベルアップした自分を見てもらえるように頑張ります。



## スキー部 (モーグル)

○目標はオリンピックでの優勝! **2年J組 渡辺 大晴**

私はスキーのフリースタイル種目のモーグルという競技をしています。先日、アメリカで行われた世界大会で三位に入賞することができたので、初めてワールドカップ出場が決まりました。更に日本代表としてのランクも上がり、トップチームの一員としてワールドカップの転戦も決まりました。うれしいことなのですが、私の目標は平昌(ピョンチャン)オリンピックで優勝することなので、満足せずにもっと高見を目指します。



### ハンドボール部

奨励賞 有難うございました **ハンドボール部主将 2年I組 渋田 良広**

昨年秋の大阪府新人大会で準優勝し、全国高等学校選抜大会近畿予選に出場することになりました。二位出場のため全国大会の切符を勝ち取るには全勝(4勝)しかありません。そのためか、初戦は本来の力を発揮できませんでしたが、最後は意地の勝利をし、その後は試合ごとに調子が上向きと共に全員の気持ち一つとなって全勝することができました。全国大会に向けて日々の練習を大切に、主将としてチームをしっかりまとめていきたいと思っています。ご声援よろしくお願いします。



## 進路状況

27年1月現在の卒業予定者は314名ですが、内部入試196名が関西大学に進学が内定しています。このほかに推薦入試で早稲田大学・同志社大学・関西学院大学・立命館大学をはじめ、のべ250名程度が合格。関西大学第一志望以外の生徒は、現在国公立二次試験・私立一般入試に向けて奮闘中。

大学合格者数(抜粋) 2014年度は集計中

注意: 合格者は延べ人数

大学名	卒業生数	国公立大											主な私立大学											合計	左記以外の合格者数合計	総計									
		関西大学	大阪大学	神戸大学	神戸外国語大学	大阪市立大学	大阪教育大学	滋賀大学	広島市立大学	慶応義塾大学	上智大学	明治大学	関西学院大学	同志社大学	立命館大学	近畿大学	京都産業大学	甲南大学	龍谷大学	大阪経済大学	佛光大学	奈良大学	摂南大学				神戸学院大学	追手門学院大学	桃山学院大学	京都市外国語大学	同志社外国語大学	同志社女子大学	武庫川女子大学	京都女子大学	甲南女子大学
合格者数	2012年度	392	218	1	1		3	1	2	1	1	1	3	4	3	33	35	12	26	5	17	67	15	32	18	7	11	8	6	6	27	5	567	309	876
	2013年度	394	217							1	1	1	1	3	30	15	1	17	28	8	2	16	43	15	37	18	11	13	2	5		3	487	113	600

# 同窓の近況

## サッカー部OBが集合 2015 初蹴り

2015年1月3日 関西大学北陽高校グラウンドにて「初蹴り」が開催されました。やはり正月は全国大会を東京で……大阪代表として……が本望だが……  
 昨年までは高校生だったOB一年生から大先輩まで懐かしい顔が揃いました。珍プレイ、好プレイの楽しいひとときを過ごしました。



サッカー部OB参集



OB選抜イレブン

## 「昭和35年卒業Eクラス同窓会」を開催

平成26年10月19日(日)に午後5時から「ホテルグランヴィア」の楓の間において、一年有余振りに9名が参加して開催しました。  
 冒頭に昨年5月に開催の当同窓会に出席して下さった、山田 勝彦君が8月に逝去された報告と、山田君を含む物故者(恩師の八田先生及び諸先生と同級生)への哀悼を込め黙祷と献酒で会を開始しました。  
 今回は久しぶりに参加された方もいるために、久しぶりに出席者全員による近況報告などで大いに会が盛り上がりました。また、その中で奄美大島出身の義永君から、奄美大島産の元始ミカン(形はすごく小さいが、良い匂いと甘いミカン)のお土産サプライズ等々があり、予定時間もアツという間に来てしまう程盛り上がりました。盛り上がった結果、この年末に有志だけで忘年会の開催と、来年の再会を祈念して一本締めで閉会しました。



山本正明(昭和35年卒)



後列 左より 平岡 勇、義永 忠孝、有年 安永、桂 武久、平井 栄治  
 前列 左より 大山 賢造、西岡 達郎、山本 正明、柳原 恒郎

## 我ら北陽繋がりゴルフ仲間です

1月16日、ランドオークゴルフクラブに於いて、「天地会30周年記念チャリティーゴルフコンペ」が開催されました。  
 「天地会」ご存知ですか、実は1985年阪神タイガースが日本一、2年後リーグ最下位時の監督・コーチ・選手が社会貢献を目的に「チャリティーコンペ」として開催されている会です。  
 会長は吉田義男元監督で、岡田彰布氏(現同窓会長)、長崎慶一郎氏(44年卒)がメンバーです。  
 同窓会コンペに吉田義男氏・一枝修平さん等多くの元プロ野球選手が参加されていたのは、天地会事務局の協力があつたからです。天地会事務局の室山さんが岡田彰布会長入団時の広報担当であり、日本一当時の管理部長だったからです。  
 今開催は、「球団80周年・天地会30周年」の節目コンペであり、岡田彰布会長が発起人となり開催されました。  
 過去の「天地会コンペ」には、西岡達郎・竜田 洋氏(35年卒)等の先輩も参加されていました。  
 今回は、神山興三(35年卒元同窓会長)・林修平・中田晶詞・山田純一郎・足立宗央(42年卒)が北陽繋がり参加しました。長崎慶一郎氏は当初参加予定でしたが不参加となりましたが、山田純一郎氏が準優勝になり、我ら北陽繋がりゴルフ仲間にとって、岡田会長との楽しい時間を過ごさせて頂きました。



写真は岡田彰布さんと

中田晶詞(昭和42年卒)

## 第15回「関大北陽同窓会ゴルフコンペ」が開催されました。

第15回「関大北陽同窓会ゴルフコンペ」が、平成26年9月11日(木曜日)、岡田彰布会長参加の下、チェリーヒルズゴルフクラブにおいて総勢71名の参加で盛大に開催されました。各パーティーは気心の知れた同期で回られたので、プレーより雑談・近況報告・北陽時代の会話等で盛り上がりしていました。お陰で会費が増えて幹事は助かりました。  
 プレー後の懇親会・表彰式は冗談やヤジの飛び交う中、和気あいあいと執り行われました。  
 岡田同窓会会長の挨拶に始まり、恒例の金澤先生の乾杯、表彰、今年の優勝者はグロス92で、野球部OBの吉村学さん(昭和60年卒)が射止められ、岡田会長から優勝の賞品が手渡されました。昨年はサッカー部OBに優勝をさらわれたので、野球部OBはかなり盛り上がりしていました。最後に中本導男同窓会副会長から、今後の同窓会への協力・同窓会行事参加へのお願いの挨拶で終了しました。  
 今年も、20代から80代までの幅広い参加があり、北陽同窓会の強い絆を感じた1日でした。来年も開催を予定しておりますので、多数の参加お待ちしております。  
 八木知之(昭和52年卒)



## 同窓の近況

関西ジャズ界の重鎮 足立衛さん(38年同窓)との出会いは、第5回のホームカミングデーの懇親会で、同期の竹谷宏之先輩から同窓を探してほしいとの依頼がきっかけでした。同姓であるから私と同郷ではないかとの興味もあり早速パソコン検索で捜したところヒットしました。  
 竹谷先輩との50年振り再会は、足立衛さんが主宰されている『アゼリアジャズオーケストラ』のコンサート会場で実現しました。  
 その後、母校ジャズバンド部とのコラボ演奏が実現し、今ではホームカミングデー恒例の「歓迎コンサート」には欠かせない存在となっております。  
 又、顧問の要請から母校ジャズバンド部で、ボランティアとして指導して頂き、華やかな賞に繋がっています。  
 6月にはバンド結成10周年記念コンサートが開催されました。定期コンサートが6月と12月に開催されていますので、ぜひ応援して下さい。  
 お問い合わせは、インターネットから [足立衛](#) [検索](#)  
 同窓会前会長 足立宗央(昭和42年卒)



同窓会からの花束贈呈(田村理事)

## 北陽岡田会 新年会パーティ 「秋には、監督就任の夢を膨らませ……」

2015年1月17日(土)北陽岡田会がANAクラウンプラザ大阪にて開催されました。この会には野球部OB・関西大学同窓会会員だけでなく、岡田会長の人柄で北陽同窓仲間約120名が駆けつけてくれました。最初に、鳥居北陽岡田会会長より開会の挨拶、次に池内関西大学理事長から今年の秋に関西大学北陽高校として90周年を迎える記念すべき年に岡田同窓会長の監督就任がなされることを熱望する挨拶がありました。乾杯後は、バイキング料理を食しながら各テーブルではなつかしい再会に話の花が咲いていました。また、岡田さんが各テーブルを回ると仲間から声がかかりより一層華やかなムードの中での記念写真撮影会となり岡田さんも笑顔でこたえていました。  
 続いて、お楽しみ抽選会では金澤先生(元北陽高校教員)より、今年も堺の包丁・岡田さんよりサイン入りボール・バット・クラブ等が多くの方にあたりました。嵐みずえさんの司会による岡田さんのトークショーでは、今年は縦じまのユニホーム姿が熱望される熱いトークがありましたが……。参加者全員から今年の秋を楽しみにする声が多くありました。  
 最後に岡田さんより、関大北陽野球部から岡田さん以来、早稲田大学野球部に入学予定の岸本朋也君(関大北陽野球部キャプテン・キャッチャー)の紹介と共に励ましの言葉がありました。  
 この日のために岡田会長より関大北陽野球部へ特別に用意されたサイン入り芋焼酎が全員に手土産として贈られ、お礼の挨拶をもって終了いたしました。  
 会長代行 池田勝一(昭和49年卒)



# 関東支部だより

## 平成26年度 関大北陽高校同窓会関東支部総会・親睦会



5月31日 関東支部総会・懇親会を3年連続して東京・日本橋2丁目創業112年の老舗そば「や婦久」にて14:00から開催しました。

大阪本部から岡田会長、足立会長付、神山元会長、池田新会長代行、梶川新理事・HP担当の新旧幹部をお迎えして交流を密にしました。

支部からは11名、計16名で一堂に会しました。先ず、関東支部が東京支部と称していた時期より以前から、支部を支えてこられた菊野大兄のご冥福を祈る黙祷で始まり、あらかじめ「会次第」を含めた冊子を準備し、会が円滑かつ迅速に「総会」の部は満場一致で終了しました。懇親会が始まり、国府島副支部長によって進行されました。足立前会長の挨拶―本部新役員の発表で岡田会長の強い意向である若手を起用されました。そして、関東支部の皆さんに

お世話になったと、友人の営む農家直産の「たまご」を戴きました。卵は15:00に宅急便で店に届けられました。心のこもった演出でした。次に池田新会長代行からご挨拶を戴き、4月の代議員会での議事録の報告が為されました。

岡田会長から、こうして同窓の皆様が関東で活躍され、お会いできて嬉しい。人事について強い意向を示され、若手の登用と育成が大事ですから来年は母校創立90周年を迎えるにあたって、同窓会がますます発展していくことを願っています、と「生え抜き若手の育成とぶれない精神」は著書通りの実践を計ろうとする力強く、たくましいご挨拶でした。

親睦会は盛況の内に幕を閉じる。今後の再会を祈念して古参の事業委員長実重さんの音頭で三本締め、お開きとなりました。店頭で記念の集合写真を撮りました。

## 創立90周年を迎えるにあたって

2000年4月「汽笛一声新橋で関東支部」は組織としてスタートしました。先ずは在京諸氏を探索の仕度と年二度の定例会議で執行部の連携を図ることを主な趣旨としました。それから27年の歳月が経とうとしています。その間、故林 敏夫前校長退官叙勲の祝賀会を、支部総力を挙げて銀座にお迎えし、20数名の在京諸氏が参集、盛大であったことは、今でも記憶に残っています。

登山家や政治家、若き写真家達とも交流ができた、同窓会の活躍に誇りを感じておりました。

新橋から銀座、そして東京八重洲口、さらに日本橋へと懇親会の会場も転々、たどり着いた所は、お江戸日本橋老舗「や婦久」でありました。創業百数十年、五代目店主高橋さんはオリックス時代の岡田会長の大ファンで、後援会の店として親しくさせていただいております。偶然の出会い、岡田会長が導いて下さったものと思っています。

今年で卒業を迎えられた卒業生の皆さん、卒業おめでとう。創立90周年祈念すべき年でもあります。

関東への大学進学や、就職され転勤で東京へ配属される方々は、是非ともご連絡を下さるようお待ちしております。

母校の益々のご繁栄と保護者の方々の暖かいご理解、ご支援、関西大学法人の方々、同窓会をこれまで支えてこられた諸先輩の皆様方に厚くお礼申し上げますとともに今後とも同窓会へのご支援ご協力の程お願い致します。

同窓会は岡田会長をはじめ、斬新な新旧交代を図り始動しております。同時に関東支部も岡田氏と同期の原 強氏が副会長兼支部顧問となり意思疎通がさらなる支部の発展・活性化につながっていくものと信じております。

関西大学北陽高等学校同窓会関東支部長  
内海 昭(昭和43年卒)

## 同窓会協力募金ご協力ありがとうございました

卒業年度順・敬称略 平成27年1月末日現在

卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名
元 教 員	金澤 勇	昭和34年卒	吉田 稔弘	昭和42年卒	山内 直行	昭和51年卒	岡田 彰布
元 教 員	池崎真理子	昭和34年卒	土井 忠喜	昭和42年卒	宮前 徹	昭和53年卒	中本 導男
昭和16年卒	津田 眞治	昭和35年卒	竜田 洋	昭和42年卒	寺田 賢作	昭和54年卒	吉井 寛
昭和16年卒	西村 一男	昭和35年卒	義永 忠高	昭和42年卒	足立 宗央	昭和57年卒	梶川 聖二
昭和16年卒	木下 浩	昭和38年卒	大矢 登	昭和42年卒	米川 修二	昭和59年卒	田村 大作
昭和17年卒	藤滝 昇	昭和38年卒	大野 健三	昭和43年卒	中向登美子	昭和62年卒	山本 正明
昭和24年卒	寺西 克美	昭和38年卒	中谷 亨	昭和43年卒	飯川 隆司	昭和62年卒	松井 勝博
昭和29年卒	三原 地生	昭和38年卒	岩本 博義	昭和45年卒	国府島勇三	昭和62年卒	細田 真一
昭和31年卒	熊野 暉	昭和39年卒	往田 雄三	昭和46年卒	橋本 幸弘	平成3年卒	森岡 和則
昭和31年卒	辻橋 佐一	昭和40年卒	城島 末明	昭和46年卒	津田 広信	平成3年卒	中川 智
昭和33年卒	神山 興三	昭和41年卒	増田 正彦	昭和49年卒	池田 勝一	平成4年卒	西澤 宏之
昭和33年卒	清水 弘司	昭和41年卒	阪田 弘博	昭和50年卒	中尾 明	平成13年卒	魚谷 知生
昭和33年卒	菱谷 昌弘	昭和41年卒	金本 要二	昭和51年卒	星野 勝	平成21年卒	谷口 大介

### 今回ご案内により、ご逝去され、ご家族からご連絡頂いた卒業生の方々(敬称略)

昭和21年 岩畑 毅	昭和37年 枝常 晋吾	昭和45年 竹内 明	昭和57年 後藤 嘉浩
昭和23年 山本 智生	昭和42年 市川 俊夫	昭和52年 岩内 二治	



<https://www.facebook.com/hokuyo.ob>

# facebook

## 関西大学北陽高校同窓会 facebook はじめました。

### ホームページバナー広告の募集について

#### ホームページバナー広告の募集について

関西大学北陽高等学校同窓会では、同窓会運営財源の確保と同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。

掲載料は、年間10,000円と非常に安く設定いたしましたので、ぜひ、旧友との仕事情報の交換等にご利用ください。

#### 1. バナー広告掲載料

10,000 円(年間掲載)、5,000円(半年間掲載)

#### 2. 掲載場所

トップページ以降の左メニュー下部に、バナー広告が掲載されます(ランダムに10社分、その他は広告掲載企業一覧ページが設けられています)。

バナー広告(ホームページ内に表示される広告画像若しくはテキスト)から、広告主の情報を掲載したOBマイページにリンクします。

詳細は「関西大学北陽高校同窓会」で検索  
<http://www.hokuyo-ob.jp/>

### 関西大学北陽高校同窓会ホームページバナー広告協賛企業

■ 有限会社さわや	昭和41年卒	濱田 康雄 様	■ 福玄	昭和57年卒	サッカー部	玄 栄健 様
■ アイワホーム株式会社	昭和42年卒	辻上 利市 様	■ 株式会社 幸 建設	昭和60年卒	硬式野球部	西森 務 様
■ 株式会社 寺田美研	昭和42年卒	寺田 賢作 様	■ 有限会社 薩 摩	平成元年卒	サッカー部	太田黒 博 様
■ 有限会社 アメリカ堂	昭和43年卒	飯川 隆二 様	■ 森岡ボクシングジム	平成3年卒		中川 智 様
■ 株式会社 アローズコーポレーション	株式会社まちの保険屋さん	昭和51年卒	■ おそうじ本舗上新庄店	平成4年卒	ハンドボール部	大槻 賢二 様
■ ピーバイエス株式会社	昭和57年卒	サッカー部 梶川 聖二 様	■ 曾根リセット整骨院	平成8年卒	サッカー部	尹 英植 様

(順不同 平成27年1月31日 現在)